（　別　紙　）

第119回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

問題Ａ第　63　問

63　52歳の男性。上顎左側第一小臼歯の一過性冷水痛を主訴として来院した。15年前に近医で処置を受け問題なく経過していたが、１か月前から一過性冷水痛を自覚するようになったという。歯髄電気診に正常に反応し、プロービング深さは全周3 mm以内である。暫間的間接覆髄法を行うこととした。初診時の口腔内写真（別冊No. 19A）、エックス線画像（別冊No. 19B）及び処置中の口腔内写真（別冊No. 19C）を別に示す。

暫間修復材で適切なのはどれか。１つ選べ。

a　水硬性セメント

b　コンポジットレジン

c　酸化亜鉛ユージノールセメント

d　ポリカルボキシレートセメント

e　従来型グラスアイオノマーセメント

（　採点上の取り扱い　）

採点対象から除外する。

（　理　由　）

設問の状況設定が不十分で正解が得られないため。